

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ささえ	代表者	笠嶋 信夫	法人・事業所の特徴	中心となるデイサービスは、一人一人の状態に合わせた柔軟なサービス提供しています。突然の宿泊にも対応、訪問サービスでは通いの場のなじみの関係ができています。スタッフが自宅へ訪問いたします。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ささえ	管理者	鮎川 律子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	1人	人	18人	人	21人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	外部研修などに学んだことを日常の業務に生かすような工夫をする	不十分ではあるが、改善計画に対し取り組む事が出来ていると思われる。 今後も、スタッフ一人一人の意識の改善の取り組みが必要。	少しずつではあるが朝の申し送りの話し合いで意見交流が活発に行われてきている。 細部にわたる部分の意見の統一は難しいが、同じ方向を向けているか？都度意見交流が必要。	一人一人が意見を言い合える時間と雰囲気が必要。朝の送りでの話し合いを継続する。 今必要としている研修を積極的に受講し日常業務に生かすような工夫をする。
B. 事業所のしつらえ・環境	職員の接遇面や認知症の対応など研修をして学んだこと日々の業務に生かし、利用者様にとって過ごしやすい環境作りに努める。	フロア的环境整備を実施。清潔で明るい雰囲気を保たれている。 不審者侵入の危険、トラブル防止の為、玄関施錠を行っている。	トラブルや危険回避のための玄関施錠は問題ないと思う 職員の入れ替わりが少なく、利用者様にとって馴染みのあるスタッフで対応が出来る	感染予防のための環境整備と不審者侵入などの危険防止を行い、清潔で居心地の良い、明るい雰囲気の環境を目指します。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方々が立ち寄れるような事業所とはどのようなものなのか事業所として考えて運営していく。	地域の盆踊りの参加 児童会館の子ども達との交流 ボランティアの方に来てもらい、演奏していただく。 夏祭りを実施。	地域の方々が気軽に立ち寄れる場所にする為、地域活動をささえで行ってはどうか	ささえ2号館3階の共有スペースを利用し、地域の方を招き入れ、地域活動に利用して頂く企画をする
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・買い物など利用者様と一緒にいくなど工夫して外出の機会を増やしていく。 ・外出イベントを事前に計画してできるだけ多くの利用者様が参加できるようにしていく。 ・外出行事の質・量の向上に努める	買い物など利用者様と一緒に行く 地域のイベントにも参加 外出イベントを計画、実行が出来た	毎月の行事の見直し外出機会を増やす行事にする。 日光浴や散歩などを毎日の日課にしたい。	利用者様個々に可能な外出方法を検討し、時にはご家族様や地域の方々の協力を得て、季節の変化を楽しんでいただける取り組みを行う
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議でもっと地域の方々の意見が反映できるような事業所運営を目指す	入居者様をお願いして出席して頂いた。 契約や更新の際に、運営推進会議への出席を改めてお願いをした。 地域の方々の意見を傾聴している。	介護業務がある為、職員が会議に出席する為にはシフトや業務に予定しなければ不可能ではないか 事業所の理解を深めるには、介護職員が直に話す伝わりやすい	シフト調整を行い、介護職員も出席できるようにする。 ご家族様や利用者様の出席をお願いする。
F. 事業所の防災・災害対策	・水害時の訓練も計画し避難訓練に浸水を想定した訓練を実施。 防災時のマニュアルをもう一度見直して作成。職員に職員会議など通して周知させる	今年度も水害や震災についての防災訓練実施にいたらず	水害対策に特化した検討が必要。 職員会議を通じ周知させてはどうか。	水害・震災の非常時マニュアルを再確認、訓練を実施する。(5月予定)

